

授業科目名	健康科学概論Ⅰ	担当教員	教授 名越 究 他
開講年次・学期	1年後期	必修/選択	必修
開講形態	看護学科「健康・スポーツ科学概論」との合同講義	時間数/単位数	2単位
授業の目的（概要）			
<p>医療人を志す者は、専門職としての専門的知識と技術を身につけるのは当然だが、さらに社会生活を営む中で、人間の諸機能を十分に發揮し得る心身の健康な状態を知り、かつ自ら健康な状態を保ちつつ市民を先導できることが望ましい。</p> <p>本科目では、現代社会において身体的、精神的に健康な生活を送るために必要な科学的な基礎知識や考え方を実践・研究事例などを含めた講義により学習する。</p> <p>リベラルアーツとして学ぶ健康科学の知識が、充実した学生生活の基礎となり、また社会人となつてからの羅針盤となることを期待する。</p>			
学修成果（到達目標）			
<ol style="list-style-type: none"> <li>身体の基本的な構造と機能の理解に基づいて、健康と環境との関わり、健康増進のためのスポーツの利用、栄養学、ストレスコーピングなどを理解する。</li> <li>健康科学、環境医学を概論的に理解する。</li> <li>化学リテラシー、情報リテラシーを身に付ける。</li> <li>地域におけるこれからの医療、ケア実践、ケア体制、研究のあり方を考えることができる。</li> <li>在学中、卒業後の自分のキャリアに重ね合わせ具体的な問い合わせの設定と自己学習課題について考えることができる。</li> </ol>			
キーワード			
健康、メンタルヘルス、栄養、運動、スポーツ、食の安全、科学リテラシー、情報リテラシー			
授業の進め方			
医学科・看護学科合同の講義であるが、講師の裁量によりディスカッションも取り入れる。各講義の学びをもとに理解を深めるためのレポート作成をさせる。			
成績評価の方法（合否基準）			
レポートの総得点を100点満点に換算したうち60点以上			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材			
<p>教科書 なし</p> <p>参考書 (調査中)</p>			

## オフィスアワー

名越 究（環境保健医学）質問、講師の先生方への質問など隨時  
環境保健医学講座公衆衛生学ユニット(2164) nagoshi@med.shmane-u.ac.jp

## コア・カリとの関連

### A-4-2) 患者と医師の関係

ねらい：

一個人として医療者にどのようにあってほしいかということを考えるところから、自らの目指す医師像を熟考する。

学修目標：

- ①自らが病気になった時に医療に何を求めるか客観的に説明できる。
- ②医療従事者の対応に対して、自らがどのように感じるかをイメージできる。

### B-1-5) 生活習慣とリスク

ねらい：

運動・スポーツ、食生活など生活習慣と健康およびリスクの関係を理解する。

学修目標：

- ①運動の予防医学的な意義を説明できる。
- ②スポーツ傷害の発症機序と予防法を説明できる。
- ③胎生期からのライフステージの健康と食の関係を説明できる。

### B-1-6) 社会・環境と健康

ねらい：

健康に社会・環境が深く関わることを理解する。

学修目標：

- ①動物を含む環境がヒトの健康と関わることを説明できる。
- ②生活環境とコロナウイルスなど感染症の関係を説明できる。
- ③生殖補助医療や再生医療が生物の自然史に与える影響について学ぶ。

### B-1-7) 地域医療・地域保健

ねらい：

地域における医療・ケアのありかたを学ぶ。

学修目標：

- ①地域における医療、ケアの実践、体制などについて説明できる。
- ②卒後の自身のキャリアに重ねて具体的な問い合わせを設定し自己学習課題について考えることができる。

## 準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。